

The Nissan Revival Plan

日産リバイバル・プラン 計画を前倒しで達成

「日産リバイバル・プラン」(NRP)は1999年10月に発表され、2000年4月から実行に移されました。そして今日、NRPが終了して、日産は新しく生まれ変わりました。より効率的で収益力がある日産、より良い商品やサービスを提供する日産、お客さまや社員、その他のステークホルダーに新しい期待感を抱かせる日産となりました。コミットメント(必達目標)をすべて1年前倒しで達成して、NRPは過去最高の連結決算を実現しました。

NRPを最初に発表した際、日産の経営陣は3つの大胆なコミットメントを掲げました。そして、これらのコミットメントのいずれかでも達成できない場合には経営陣全員が辞任すると公約することで確固たる決意を示したのです。

- 2000年度に、連結当期利益の黒字化を達成
- 2002年度に、連結売上高営業利益率4.5%以上を達成
- 2002年度末までに、自動車事業の連結実質有利子負債を7,000億円以下に削減

これらのコミットメントは、当初の予定より1年前倒しですべて達成されました。

連結当期利益の黒字化は、わずか1年目で達成され、税引後純利益は3,311億円となりました。さらに2001年度には、過去最高となる3,723億円の税引後純利益が記録されたのです。連結売上高営業利益率は、NRP実施初年度にすでに4.75%を達成し、2001年度末には過去最高となる7.9%という数字を記録しました。

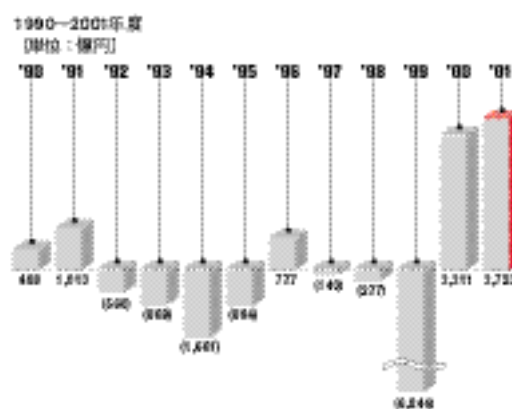
そして自動車事業の連結実質有利子負債は、2001年度末には過去24年間で最低となる4,317億円まで削減されたのです。

Every one of **these core commitments** has been
met—one full year ahead of schedule

NRPのコミットメント(必達目標)はすべて1年前倒しで達成されました。

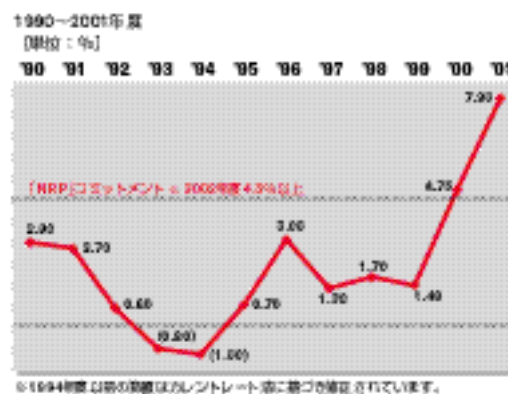
2001年度 連結当期純利益

3,723
[単位：億円]



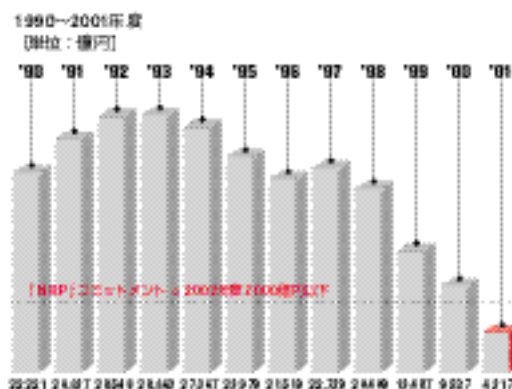
2001年度 連結売上高営業利益率

7.90
[単位：%]



2001年度 連結自動車事業実質有利子負債

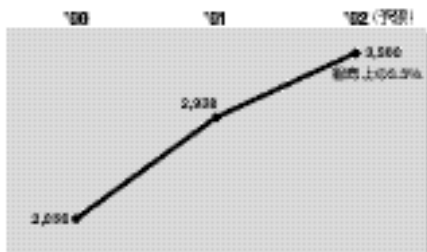
4,317
[単位：億円]



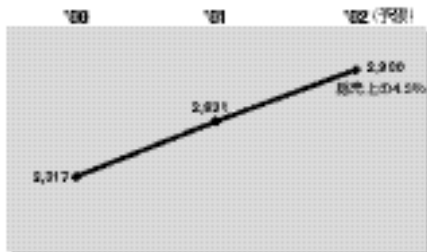
日産リバイバル・プラン 計画を前倒しで達成

成長の向けての投資
2000～2002年度

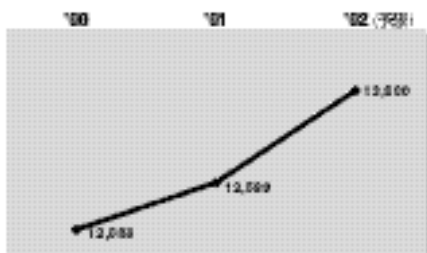
設備投資 単位：(億円)



研究開発費 単位：(億円)



開発人員 単位：人



NRPの目標達成

NRPは日産グループ全体の再生と復活をもたらしました。当初の予定より1年も早く、主要なアクションプランに関してすべてその目標を達成したのです。

- ・ 購買コストの**20%**削減
- ・ 工場稼働率を**51%**から**75%**に引き上げ
- ・ 国内販売ネットワークの再編成による販売マーケティングコストの削減
- ・ グローバルでの人員の削減
- ・ ノン・コア資産の売却
- ・ 研究開発の**25%**以上の効率化

このような事業改革を実施している最中でも、NRPには未来を見据えた投資計画が組み込まれていました。技術部門に**1,000名**ものエンジニアを新規採用する一方、多くの研究開発費(2002年ガイドライン：売上高比**4.5%**)を投入し、設備投資(2002年ガイドライン：売上高比**5.5%**)を行っていたのです。

NRPを通じて商品の収益性が格段に向上しました。NRPスタート当時、利益を上げていた商品はわずか**4車種**だけでしたが、今日ではさらに多くの車種で利益を確保できるまでになったのです。

社長兼最高経営責任者であるカルロス・ゴーンはこう語ります。「この成果は、NRPを速やかに、徹底して、妥協することなく実行したからこそ可能だったのです。2年間でNRPを達成できたことは、日産の社員、当社のパートナー、サプライヤー、販売会社等、NRPを全身全霊で受けとめた全ての人の努力の賜物です。」

日産は復活した、というだけではありません。長期的、継続的な利益ある成長の実現に向けて新たな一歩を踏み出したのです。

This performance was made possible because the execution of the NRP was **swift, relentless and without compromise**

この成果は、NRPを速やかに、徹底して、妥協することなく実行したからこそ可能だったのです。